

世界の首脳は 武器商人の傀儡なのか？

“第一次世界大戦で2万人以上の
億万長者がアメリカで誕生”

“第一次世界大戦は、すべての戦争を終結させ世界に民主主義を
もたらす戦いのはずだったが、戦争は今も絶えることがない。”

戦争に資金が流れ 血は金に換えられた。

世界は武器であふれているのに、この実態は詳しく知られていない。映画『シャドー・ディール 武器ビジネスの闇』は、金と権力と個人の野望が、国家の安全保障や世界平和、人権や開発よりも優先される国際武器取引の実態を描く衝撃のドキュメンタリーである。監督は、アーティストでもある映画監督ヨハン・グリモンブレ(『ダイアル ヒーストリー』(1997))、原作は世界的に高い評価を受けているアンドルー・ファインスタイン著『武器ビジネス:マネーと戦争の「最前線」』である。映画には、著名なジャーナリストであるエドゥアルド・ガレアーノの作品もいくつか取り入れられている。

この映画は、告発者、検察官、軍事産業関係者などの証言を通じ、武器の国際取引を取り巻く政府や軍隊、情報機関や軍事会社、武器商人や代理人の複雑な関係を浮き彫りにするだけでなく、武器ビジネスがどのように腐敗を助長し、外交や経済政策を決定づけ、民主主義をないがしろにし、果てしない苦悩をもたらすのかを明らかにする。最終的に、戦争の真の代償、武器取引の仕組み、いかに戦争兵器が市民の安全を確保するのではなく市民に向けて使われるようになるのかを暴いていく。この映画は、現実の闇に光を当てることで戦慄の実態を赤裸々に晒しているが、それはよりよい未来の構築を切望してのことである。

シャドー・ディール 武器ビジネスの闇

監督:ヨハン・グリモンブレ(『ダイアルヒーストリー』(1997))
原作:アンドルー・ファインスタイン著『武器ビジネス:マネーと戦争の「最前線」』
出演:エドゥアルド・ガレアーノ(声)、アンドルー・ファインスタイン、デイヴィッド・リー、ヘレン・ガーリック 他
配給:ユナイテッドピープル 原題:Shadow World
90分/2016年/アメリカ、ベルギー、デンマーク ©Shadow World Productions, LLC.
unitedpeople.jp/shadow @bukibiji



本作を上映しませんか？

詳しくは cinema.info へ
film@unitedpeople.jp

日時: 2026年8月29日(土) 開場 13:00 開始 13:15 ~ (上映90分)
主催: 主婦連合会 / (一財) 主婦会館
会場: 主婦会館プラザエフB2「クラルテ」(東京都千代田区六番町15)
アクセス: JR四ツ谷駅 麴町口(徒歩1分)・東京メトロ丸ノ内線/南北線 四ツ谷駅(徒歩3分)
お申込み・お問合せ 主婦連合会 TEL: 03-3265-8121 E-mail: info@shufuren.net

参加費
500円(上映協力金)
定員 70名
※定員に達し次第
お申込みを締め切らせて
いただきます